

沖洲小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善・充実
- ②自ら学び、自ら考える子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 教務主任 中村 光男	委員	校長 中野 裕文	副校長 米田 直紀	研修主任 八島 美穂
	6学年	土橋 由佳	5学年	赤堀 真之
	4学年	森本 茉琳	3学年	谷 正博
	2学年	伊勢真以子	1学年	北田 育世

校長

中野 裕文

【小中連携または中高連携における共通の取組】

主体的・対話的で深い学びを育む授業づくり

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や、学力向上委員会等の機会において、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○「授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている。」の肯定的意見は、5・6年生で87.8%であった。 ●ICT機器の積極的・効果的な活用し、より一層の「わかる授業」の実践に努める。	・学習課題にしっかりと取り組み、国語・算数の基礎的・基本的な学習内容を確実に習得できる。	・「聞こうよ あいうえお」「話そう かきくけこ」を提示し、話を理解しながら聞き、自分の意見を進んで話す態度を育てる。 ・TT指導の工夫、ICT機器の積極的な活用 ・前時からの継続を大切にする。 ・「めあて」の提示と「見通し」の確認をする。	・取組の継続 ・計算する力、読む力、書く力を育てるために、前学年や前々学年の基礎・基本項目に現在の学年でも地道に継続して取り組む。 ・タブレットの使用・定着を図る。	「授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている」は+3.4%。全国学力テストや県ステップアップテストの結果が県平均を下回っており、年度後半は、より基礎基本の学習の取り組んだ。	令和3年度は「授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている。」の肯定的意見は、5・6年生で91.7%であった。令和4年度も90%以上を目指す。 ・タブレットの更なる使用・定着を図る。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○対話や話し合い活動は実践しにくい状況にあったが、書いた成果物を掲示する等の工夫はできていた。 ●「授業中、進んで発表しようとしている。」の肯定的意見は、5・6年生で48.3%であった。	・自分の考えを持ち、話したり、書いたりして、相手に分かりやすく表現することができる。	・「話そうよ かきくけこ」を提示し、声の大きさに気をつけながら、きちんと話す態度を育てる。 ・学習活動の中で、自分の考えを筋道を立てて文章に書いたり、表現したりする機会を意図的に設ける。	・取組の継続 ・個別最適化な学びにつなげるため、個に始まり、集団で学び練ったものを個で振り返る学習活動に取り組む。 ・タブレットの使用・定着を図る。	「授業中、進んで発表しようとする」は+3.3%。コロナ蔓延防止のため話し合いを避け、教師が進める授業が増えたことが影響している。タブレットを使用した授業の取組が始まっている。	令和3年度は「授業中、進んで発表しようとしている。」の肯定的意見は、5・6年生で51.6%であった。令和4年度は55%～60%を目指す。 ・タブレットの更なる使用・定着を図る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○めあてを確認してからの学習は、児童の中にも定着しつつある。 ●「家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。」の肯定的意見は、5・6年生で77.9%であった。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・宿題や課題はきちんと提出することができ、家庭学習や自主学習に進んで取り組むことができる。	・めあての提示、見通しをもった自力解決や学び合い、まとめや振り返りという学習の流れを大切にする。 ・「家庭学習の手引き」を提示し、家庭との連携を深めながら、家庭学習の習慣を定着させる。 ・授業中や帰りの会等で家庭学習の内容に触れる。	・取組の継続 ・現在の学習や前学年や前々学年の基礎・基本の学習に継続して取り組む。 ・タブレットの使用・定着を図る。	「授業(勉強)はよく分かる」では「よくあてはまる」児童は、前年から+6.3%。「家庭でも毎日勉強し、宿題をきちんとする」の「あてはまる」児童は前年から+5.7%。先生方の地道な取組の成果の表れと捉えたい。家庭へのオンライン学習も軌道に乗り始めている。	令和3年度は「家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。」の肯定的意見は、5・6年生で83.6%であった。令和4年度は85%以上を目指す。 ・タブレットの更なる使用・定着を図る。

令和3年度 学力向上ロードマップ



